JAPAN TASK FORCE

NATIONAL DISASTER RESPONSE

Vol.5

ご あ い さ つ

平素は、特定非営利活動法人ジャパン・タスクフォースの活動にご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

皆様のご支援により、各種講習や訓練会をはじめ新たな事業に多数ご参加いただき、これまで以上の実績と成果を出すことができました。

また、各講習募集時には、数分で満員状態となり、参加希望の皆様方には大変ご迷惑をおかけしているところではございますが、皆様のご要望に沿えるよう引き続き取り組んでまいりますのでご期待ください。

２０１７年度も、皆様のご意見ご要望を伺いながら、新しいモノだけを追い求めるのではなく、これまで培った実績と成果を新規講習（火災系、倒壊建物系）へと繋げ、良質な知識・技術を提供する体制を維持して参りますので、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 ジャパン・タスクフォース

2017年度ＪＴＦ 代表理事・インストラクター紹介

理　事　長

MIYASHIMA　SHIORI

宮島　　志織

理　　事

SATO　　TAKAHIRO

佐藤　孝洋

担当講習

・ラダーレスキューシステム
・トレーニングコース講習
・ＲＳ検証会スペシャルアドバイザー
・ＵＳＡＲレスキューシステム

理事・事務局

YANAGIDA　KENICHIRO

柳田　健一郎

担当講習

・ファイヤーファイターサバイバルⅠ・Ⅱ
・ラダーレスキューシステム
・トレーニングコース講習
・ＲＳ検証会スペシャルアドバイザー
・ＵＳＡＲレスキューシステム

アシスタントインストラクター

NAGASUGI　HIROYUKI

永杉　　博之

アシスタントインストラクター

ISHIZAKI　KOUJI

石坂　　浩治

アシスタントインストラクター

SAIJO　YOSHIHITO

西條　　善仁

アシスタントインストラクター

HAYAKAWA　YOSHIMI

早川　　好美

本部・事務局スタッフ

SASAKI　　TOMOMI

佐々木　智美

本部・事務局スタッフ

HAMAMOTO　YUKI

濱本　　ゆき

活　動　報　告

災害対応技術提供活動

▼ これまでの講師派遣実績

和歌山県消防学校（救助科/警防科）	新潟県消防学校（警防科/救助科）
神奈川県消防学校（特別救助隊員研修）	山口県消防学校（救助科）
長野県消防学校（救助科/警防科/その他）	和歌山県内１消防（救助技術研修）
富山県内１消防（救助技術研修）	大阪府内３消防（救助技術研修）
福井県内２消防（救助技術研修）	岐阜県消防長会
島根県消防学校（救助科）	岐阜県消防学校（救助科）
台湾台北市消防局　　※台湾より依頼	高知県消防学校
台湾内政部消防（Taiwan ＵＳＡＲ Team 研修）　※台湾より依頼	
大阪府中部消防事務連絡協議会救助分科会訓練会	
岐阜県中津川市防災講演	株式会社横井製作所
株式会社テイコク	大同コンサルタンツ株式会社
島根県江津邑智消防組合消防本部	岐阜県大垣市消防本部

JAPAN TASK FORCE

▼ ２０１６年度講師派遣実績

株式会社テイコク	大同コンサルタンツ株式会社
島根県江津邑智消防組合消防本部	岐阜県大垣市消防本部
山口県消防学校（救助科）	宮城県消防学校（救助隊長教育講習）
三重県消防学校（救助科）	高知県消防学校（救助科）

▼一般企業・公共施設への防災知識・技術提供実績

大阪府内　有料老人ホーム 大阪府内　私立幼稚園	「緊急時対応マニュアル」 作成マネジメント
株式会社　横井製作所	火災現場に求められる資器材について！

他団体との災害支援活動

災害救助犬団体との連携活動

２０１４年１０月	みやぎ地域復興支援「県外避難者を対象とした防災減災講演会」
2014 年 ３月	東日本大震災「追悼式」への参加、防災啓発実技訓練（講師派遣）
2014 年 ５月	災害救助犬啓発活動：みんな大好きペット博（京セラドーム開催）における「災害救助犬展示訓練・デモンストレーション」への参加
2015 年 ４月	ネパール大地震救助犬派遣に伴う現地検索活動における支援・安全管理
2015 年 ５月	災害救助犬啓発活動：みんな大好きペット博（京セラドーム開催）における「災害救助犬展示訓練・デモンストレーション」への参加
2015 年１１月	災害捜索活動と災害救助犬の活用について：ＦＥＭＡカリフォルニアタスクフォース３サーチＫ９スペシャリスト Lynne　Engelbert 氏　招聘
2016 年４月	熊本地震捜索活動
2016 年 10 月	中国領事館主催「中秋名月祭」

JAPAN TASK FORCE

これまでの災害支援活動

2010 年７月	岐阜県可児市 豪雨災害	・活動延べ日数：５日間 ・活動内容：捜索活動
2011 年３月	東日本大震災 岩手県大船渡市	・活動延べ日数：６日間 ・活動内容：捜索活動、復旧活動、支援物資運搬
2011 年９月	和歌山県台風 12 号 豪雨災害	・活動延べ日数：３日間 ・活動内容：捜索活動、復旧活動
2014 年８月	広島県 大規模土砂災害	・活動延べ日数：２日間 ・活動延べ人員：８名 ・活動内容：捜索活動、救助犬活動の安全管理
2015 年４月	ネパール大地震	・活動延べ日数：５日間 ・活動延べ人員：１０名 ・活動内容：捜索活動、救助犬活動の安全管理、海外救助隊との連携活動におけるマネジメント
2016 年4月	熊本地震	・活動延べ日数：７日間 ・活動延べ人員：３８名 ・活動内容：捜索活動、救助犬活動の安全管理、被災建物安定化処置（ＰＰバンド等）

２０１６年ＪＴＦ秋イベント

「 現状の消火戦術におけるホースの重要性と今後の課題 」

現在の火災戦術におけるホースの重要性と、多彩なノズルの特性について考える大人の社会見学を実施しました。

ホースについては、材質や製造工程から学ばせていただき、多種多様化する戦術に対応するためのメーカー努力と製品特徴を学びました。

さらに、国内メーカーのノズル１７種２４個のノズルを一同に集め実際に放水し各特性を理解することができたことが、参加された方々の財産になったと確信しています。

今回のイベントを終えて・・・ホースを開発する技術・開発者様の思い、販売員様の思い、現場の隊員様の思いを合わせることが、今後の火災戦術の発展と安全活動に活かせるということを感じました。

２０１６年ＪＴＦ冬イベント
「 CAFS 装置消火実験 」

株式会社モリタホールディングス技術研究所にて、CAFS 装置の講義と消火実験の検証イベントを実施しました。

イベントの目的として、新しい消火装置の消火特性や使用方法。それらをどの様に消火活動に活かすか、をテーマにしました。

CAFS を開発された担当者の方から直々に「CAFS 装置」の消火能力についての講義を拝聴しました。

CAFS の消火能力についてはこれまでも耳にしておりましたが、改めて丁寧な説明を受けてみると、消火能力についての根拠などが明確になり、とても参考になりました。

消火実験では、実際に CAFS と比較するために水や ABC 消火器などを使用して消火能力の検証を実施しました。一般（木類）火災だけでなく、油関係の火災にも活用できることや、CAFS 放水の反動力、放水距離なども実際に確認できたことは今後の消火活動にも活用できると感じました。

※当団体では、このような機会を設けることで、現場で活動される方々への安全活動の一助になればと願っております。今後もご期待ください！

※ご参加いただいた皆様、ご協力いただいた各企業様のご尽力により
実現することができました。この場合をお借りし感謝申し上げます。

『　Live-Fire Training Camp　』

燃えさかる火炎を使ったトレーニング

2016年10月17～19日の3日間、米インディアナ州インディアナポリスで開催された「ライブ・ファイヤー　トレーニングキャンプ」に参加しました。

その名のとおり、まさしく燃えさかるリアルな火炎を使ってのトレーニング！！

日本では体験できないスケールの訓練が、アメリカでどのように行われているか？当団体で開講しているＦＦＳシリーズを、より現実的な講習内容にするため、ＦＦＳのプロジェクトメンバーで参加しました。

≪消防士なら誰もが興味を持ち、
体験したいと願うトレーニング！≫

日本ではホットトレーニングを体験できる施設は数か所でありますが、実際の火災現場のような環境でトレーニングができる施設となると皆無ではないでしょうか。「消防士としての経験を積みたい、スキルを上げたい」・・しかし、経験を積む場所は“現場”しかありません。果たして・・・

濃煙熱気の中で活動を強いられるような“現場”に年間何回出動しているのか？経験値と呼べるほど“現場”を経験しているだろうか？

しかし、火災出動を願っている消防士はいません。このようなジレンマに常に悩まされているのではないでしょうか？

そういった中、JTFの事務局に、アメリカ合衆国インディアナ州で開催されるライブ - ファイヤー・トレーニングの情報が入りました。それは、インディアナポリスを本拠地とする「The FireDepartment Training Network」主催のイベントです。

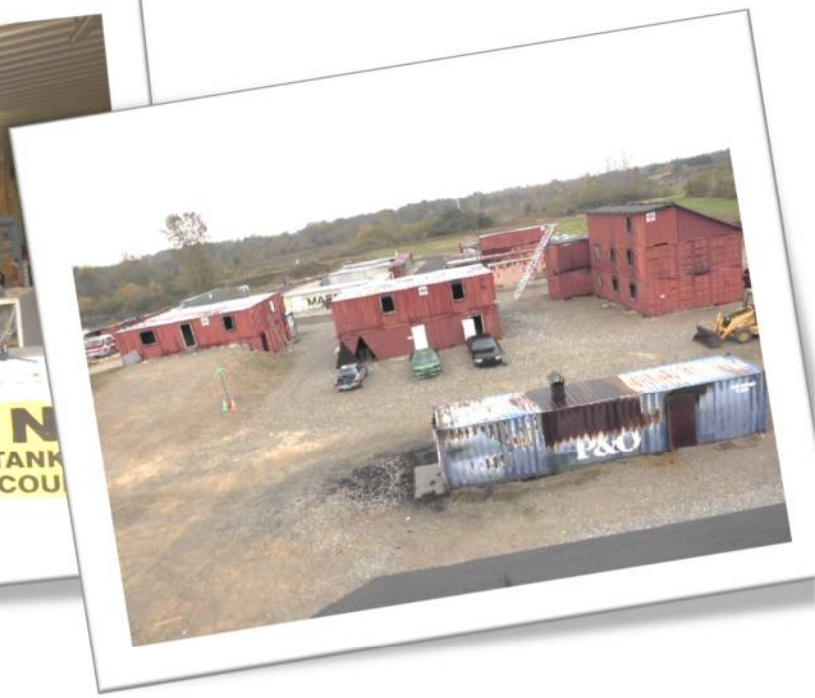
FDTNとは?The Fire Department Training Network（ 以下：FDTN ）は、1996年に創立者であるジム氏（JimMcCormack）とマイク氏（MikeLombardo）らによって設立されたNPO（非営利団体）です。会員制の民間団体であり、会員の多くは全米の消防士と消防署です。FDTNは「自分たちが必要だと思う訓練ができる環境を作りたい!」と願う有志の消防士が集って創立した組織で、創立の経過がJTFと似ていることもあり、共感を覚え、さらに今後の展望のヒントになるのではないかという期待がありました。

FDTNは、約4000人以上の個人会員と200を超える団体が基盤となっています。当初は情報誌の発行から始まり、2001年にインディアナポリス市の郊外に広大な土地を収得し、火災現場で必要とするトレーニングに合わせ、自分たちの工夫を盛り込んだ施設を作ろうと現在も拡大発展中です。

【研修内容】

ライブファイヤートレーニングキャンプ前日に主催者へご挨拶のために訓練場に向かいました。創立者のジム氏とマイク氏のほか数名のスタッフから歓迎していただき、トレーニング施設の案内を受けました。

そのあと、ＦＤＴＮの歴史などの説明と意見交換を行い、初めての参加で不安だった思いが解消されました。個人装備の確認では、防火衣は問題ありませんでしたが、グローブとブーツに関しては、耐熱性能の面でほとんどが使用不可と指摘を受け、ＦＤＴＮの予備分をお借りすることになりました。借用したグローブやブーツは分厚く、グローブをはめて道具などを扱う際の不便さを感じましたが、活動に支障が無いように慣れなければならないと実感しました。



1日目

『サーチ』・『強制ドア開放』

サーチでは、フラッシュオーバー寸前の状況での活動！！熱さと怖さを実感しました。

強制ドア開放では、ハリガンとアックスでドアを６８枚も開放しつつ、熱や煙も焚かれて視界不良の中、体力を削られました。

２日目

『通称:ゴミ屋敷の火災』

『地下室の火災』

ゴミ屋敷では、消火と荷物排出をしながら要救助者を探して救助を行いました。

煙と熱気に加え、足場が不安定で活動困難な状態の中での活動は良い経験になりました。

地下室では、消火しながら階段を下り、要救助者を救助する想定でした。ここでは、火災性状やベンチレーションなどの重要性を実感しました。

３日目

『サバイバル（FFS）』・『RIT』

濃煙熱気の中で、FFS や RIT を体感することはとても貴重な体験でした。施設の中には様々なトラップがありましたが、JTF の講習でも紹介している技術を駆使し、無事に要救助者を救出することができました。体力と精神力が必要になる訓練でした。

≪トレーニングを受けて≫

濃煙熱気の中で、自身の限界能力を知ることができたことは大変有意義でした。空気の消費量、体力の消耗、身体の使い方など、普段の訓練との違いを体感することで新たな課題も浮き彫りになりました。これまで、“炎”をイメージした訓練に取り組んではいましたが、実際に炎を使ってのトレーニングを経験することで、これからの訓練のやり方について色々と考えさせられました。屋内進入の方法であっても、建物構造、火災の状況、要救助者位置・装備・資機材の有無、自隊及び自身の能力など、様々な要因を考慮して手段を選ぶ又は手段を変更しなければならなりません。そのためには、「想像力」、「想定力」を駆使して訓練を行う必要があります。「これまで培った経験」に、「知識」と「洞察力」も必要になってくるでしょう。

FDTN とは、今後パートナーとして知識・技術面において様々な協力をしていただけるようになりました。また、日本の消防士の方々からライブファイヤートレーニング参加の要望を受け、２０１７年１０月末に参加することが決定しております。

『Live-Fire Training Camp』のレポートは、イカロス出版Ｊレスキューにも掲載されました。

ジャパン・タスクフォースの活動への
ご支援・ご協力をどうぞよろしくお願いしますす！！

当団体の活動には、多くの皆様方のご支援が必要です。私達の活動は、近年、大規模化・多様化している災害に立ち向かうために、一人でも多くの方々に救助の知識・技術を伝え、災害時に活用していただくことで、「一人でも多くの命を助け、守る」ことです。多様化する災害に立ち向かうためにも、これまでの知識や技術に加え、新たな考え、知識・技術が必要になります。そのためにも、皆様の知恵を集結し、それを具現化する場所が必要と考えます。今後もこのような活動を継続して行えますよう、皆様の温かいご理解・ご支援を心よりお願い申し上げます。

お問い合わせ先（時間：平日 9:00～18:00）
特定非営利活動法人 ジャパン・タスクフォース
〒535-0001 大阪府大阪市旭区太子橋３丁目 9-48 アーバンエース 205 号室
電　話：06-6958-4647
事務局携帯：080-7013-8922
ＦＡＸ：０６-6958－4708
メール：jtf@p-tf.org

消防用ノズルの新常識

次世代のスタンダードへ！

からくりノズル

スムースノズルの放水力＋噴霧ノズルの放水形態可変＋自衛噴霧機能！
長射程大面積放水の新型消防用可変ノズル

世界初の機構！
特許登録済

「からくりノズル」の主な特徴

CHARACTERISTIC 特徴 01

8本のスムースノズルを採用、噴霧ノズルのように棒状放水から広角放水へと任意に無段階可変操作が可能

CHARACTERISTIC 特徴 02

放水口がストレート穴のため、大きな水滴で棒状に吐出、さらにスムースノズルの飛距離に近い長距離の放水が可能

CHARACTERISTIC 特徴 03

内部流路（特許）により、放水圧0.5MPa以上の落水部では水滴と噴霧状の混合になり、噴霧ノズルに近い消火効果が見込める

■仕様

名称		新型消防用可変ノズル　KS19-8XP
放水パターン	先端ノズル部	棒状放水、広角放水（16度）
	自衛噴霧部	120～180度の範囲に水膜。操作部にて調整
ノズル流量（0.5MPa時）	先端部	450ℓ/min、Φ6.8×8口、スムースノズルΦ19相当口径
	自衛噴霧部	350ℓ/min
寸法	全体	全長400mm
	先端ノズル	全長150mm、最大外径Φ98
総重量		約3000g
先端ノズル部接続口		1.5"NST-NH（アメリカ消防ネジ規格） 65ノズルチップネジ（Φ55-10山）（JIS B9913）

「からくりノズル」には4通りの放水パターンがあります。①棒状放水、②広角放水、③棒状放水＋自衛噴霧、④広角放水＋自衛噴霧、棒状から広角長射程の無段階調整ができる、世界初、唯一のノズルです。

からくりノズルのお問い合わせは・・・

株式会社ケーエスケー
〒444-1211　愛知県安城市根崎町東新切37番地
TEL／0566-92-4383　FAX／0566-92-4523
e-mail／kusutekko@katch.ne.jp

YOUTUBE 動画配信中！

からくりノズル　検　索

スペシャル レスキュー サービス株式会社

☆業務内容：救助講習・各種防災セミナー講師、アメリカ救助研修

Special
Rescue
Service
Japan

お問合せ先：〒501―3904　岐阜県関市明生町２－３－１３－１０２
Ｅ メ ー ル：info@srs-j.co.jp

★カタログ、パンフレットから多種多様の印刷まで

CORONA
コロナ印刷株式会社

〒532-0011
大阪市淀川区西中 6-3-14
DNX 新大阪ビル 7F
電話 ：(06) 6306-2715 (代)

Right Rescue

RR
JAPAN RIGHT RESCUE
High Quality Equipment

〒535-0001
大阪府大阪市旭区太子橋４丁目 9-48　アーバンエース２０５号
電 話 番 号：06-6958-4708　（FAX 同じ）
携 帯 電 話：090-3654-2122
Ｅ メ ー ル：info@r-rescue.com
ＨＰ　URL：www.r-rescue.com
レスキュー４２ほか、取扱商品につきましてはホームページをご覧ください。